

新潟県の地震概況 令和5年(2023年)9月

令和5年10月11日

新潟地方気象台

【9月の地震活動概況】

この期間、県内の震度観測点で震度1以上を観測した地震は4回(最大震度は2)でした。新潟県とその周辺(図1)で発生した地震で、県内で震度1以上を観測した地震は1回でした。(「期間内に発生した主な地震」を参照)。

【9月に新潟県周辺で発生した地震】

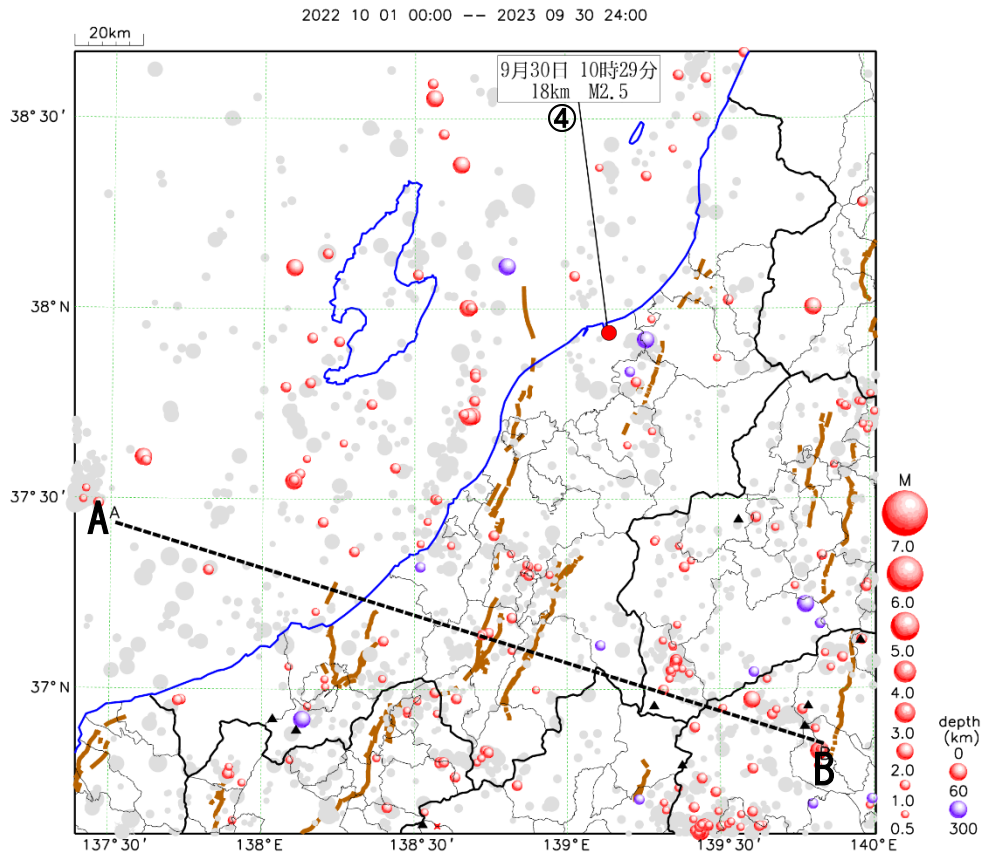


図1 震央分布図(深さ0~300km、M0.5以上)

※過去1年間の地震を表示。令和5年9月に発生した地震を赤又は青、それ以前はグレーで示した。

※図中の茶色線は地震調査研究推進本部で長期評価されている活断層を示す。

※図中の▲は活火山を、⊕は深部低周波地震を示す。

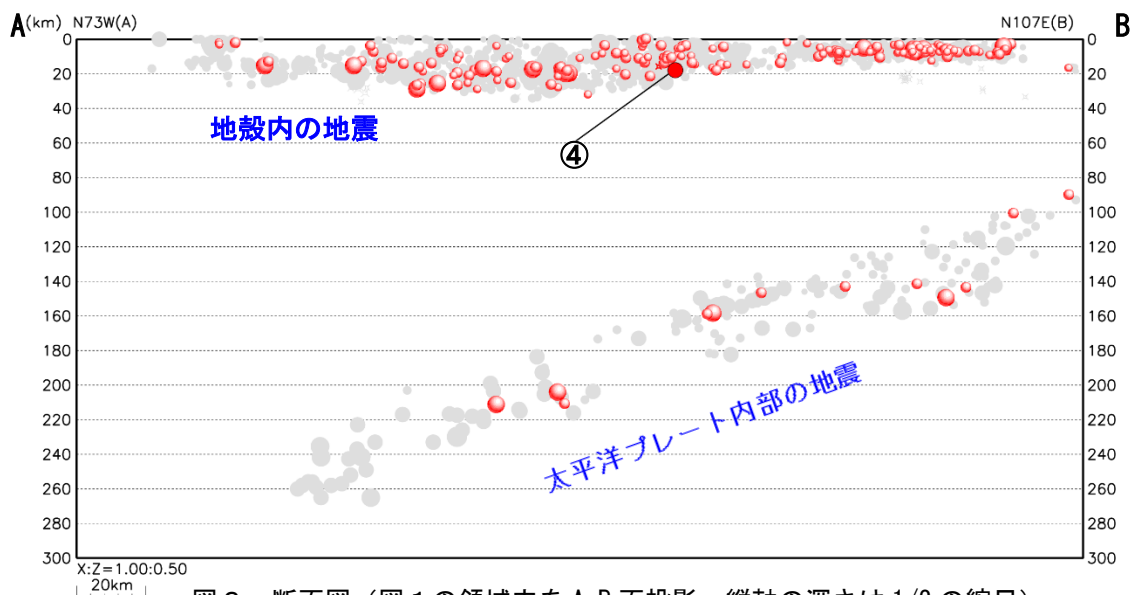


図2 断面図(図1の領域内をA-B面投影: 縦軸の深さは1/2の縮尺)

【期間内に発生した主な地震】

- ① 5日13時27分 千葉県北西部の地震 (M4.6、深さ72km) により、茨城県、神奈川県で震度3を観測したほか、関東甲信越地方及び静岡県、福島県で震度2～1を観測しました。新潟県内では南魚沼市で震度1を観測しました。この地震は太平洋プレートとフィリピン海プレートの境界で発生しました。
- ② 19日04時33分 宮城県沖の地震 (M5.6、深さ57km) により、岩手県、宮城県及び福島県で震度4を観測したほか、東北地方から関東甲信越地方及び静岡県にかけて震度3～1を観測しました。新潟県内では村上市で震度2を観測したほか下越地方から中越地方にかけて震度1を観測しました。この地震は太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生しました。
- ③ 29日16時57分 茨城県北部の地震 (M4.6、深さ109km) により、福島県、茨城県で震度3を観測したほか、東北地方、関東地方及び新潟県で震度2～1を観測しました。新潟県内では阿賀町で震度1を観測しました。この地震は太平洋プレート内部で発生しました。
- ④ 30日10時29分 新潟県下越地方の地震 (M2.5、深さ18km) により、新潟市東区で震度1を観測しました。この地震は地殻内で発生しました。

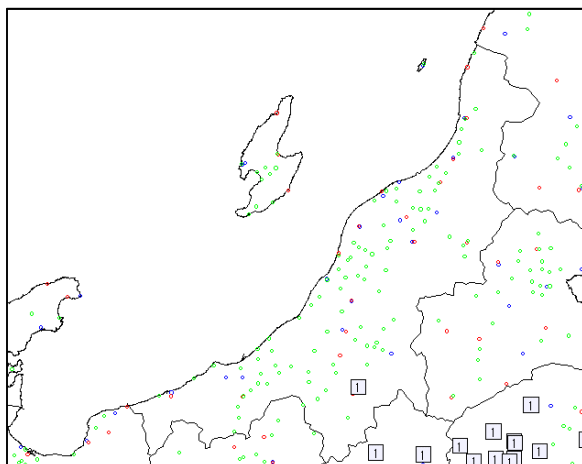
【新潟県内で震度1以上を観測した地震】 期間 2023年9月1日～2023年9月30日

地震の発生日時 (年/月/日/時:分)	震央地名	緯度	経度	深さ	規模	全国最大震度
各地の震度 *は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点						
① 2023年09月05日13時27分	千葉県北西部	35° 48.1' N	140° 07.5' E	72km	M4.6	3
震度 1: 南魚沼市六日町						
② 2023年09月19日04時33分	宮城県沖	38° 28.3' N	141° 37.3' E	57km	M5.6	4
震度 2: 村上市岩船駅前*						
震度 1: 見附市昭和町*, 南魚沼市六日町, 新発田市住田*, 村上市片町*, 五泉市太田*, 阿賀野市岡山町*, 阿賀町鹿瀬中学校*, 阿賀町鹿瀬支所*, 阿賀町津川*, 胎内市新和町, 新潟北区東栄町*, 新潟空港, 新潟秋葉区程島						
③ 2023年09月29日16時57分	茨城県北部	36° 50.7' N	140° 23.1' E	109km	M4.6	3
震度 1: 阿賀町鹿瀬中学校*						
④ 2023年09月30日10時29分	新潟県下越地方	37° 56.2' N	139° 08.5' E	18km	M2.5	1
震度 1: 新潟空港						

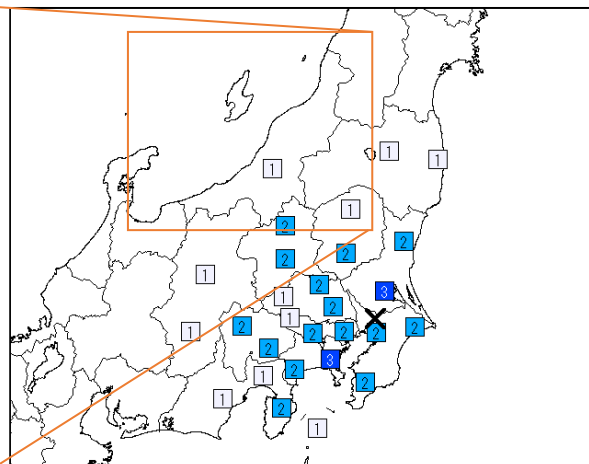
【震度分布図】

図中○は震度観測点を示す

① 5日13時27分 千葉県北西部
観測点別震度分布図



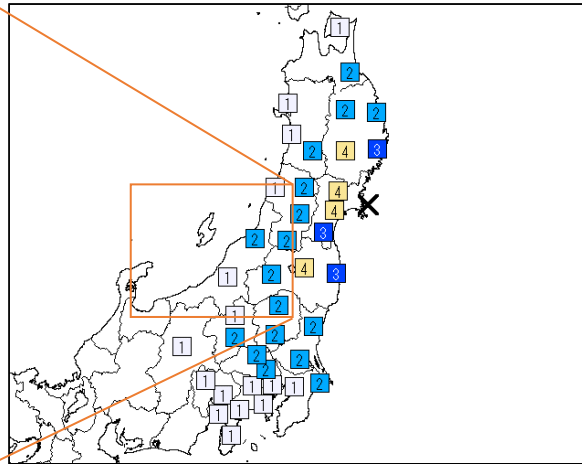
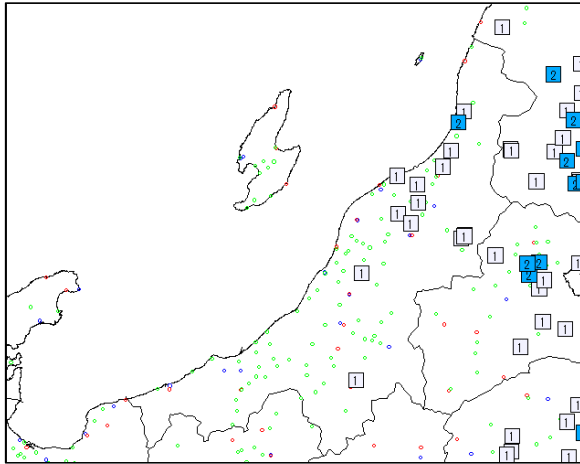
地域別震度分布図



図中○は震度観測点を示す

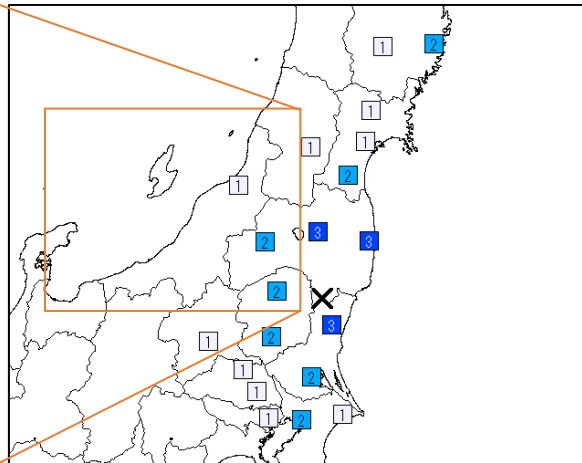
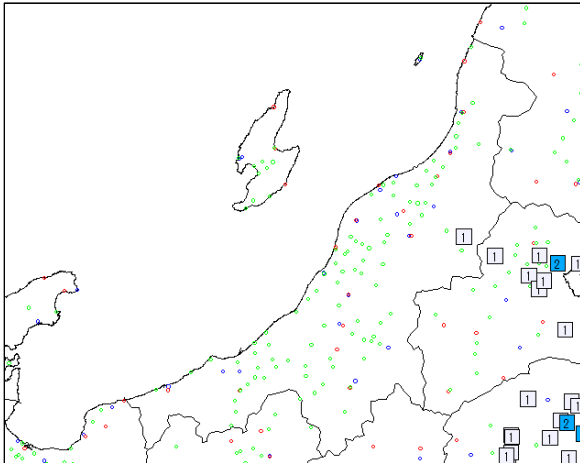
② 19日04時33分 宮城県沖
観測点別震度分布図

地域別震度分布図

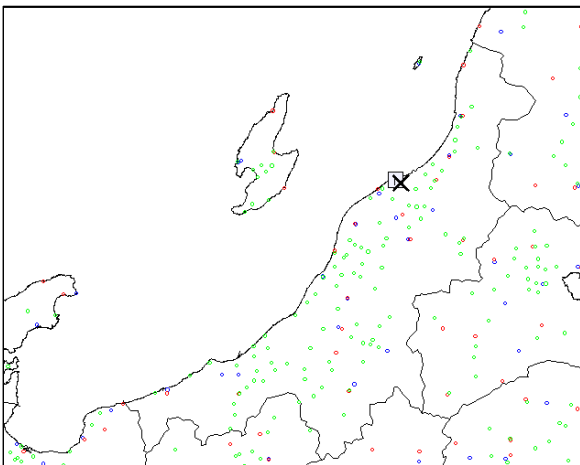


③ 29日16時57分 茨城県北部
観測点別震度分布図

地域別震度分布図



④ 30日10時29分 新潟県下越地方
観測点別震度分布図



【新潟県内で最大震度 1 以上を観測した月別・震度別地震回数表】

年	2022 年			2023 年									合計
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
震度 1	2	5	1	3	0	3	2	7	2	3	2	3	33
震度 2	1	2	0	1	1	0	0	3	0	0	1	1	10
震度 3	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	4
震度 4	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
合計	3	7	1	4	1	3	3	15	2	3	3	4	49

【火山活動状況（新潟焼山）】

新潟県の活火山「新潟焼山」の火山活動状況や警戒事項については、以下の資料をご覧ください。

「新潟焼山の火山活動状況」（気象庁HP）

https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/activity_info/307.html

【過去の地震・津波災害から学ぶ】

今年は、甚大な被害をもたらした関東大震災から100年、福井地震から75年、日本海中部地震から40年です。あらためて地震・津波災害の重大さを認識し、普段の地震・津波への備えの確認をお願いします。各特設サイトが設けられていますのでご覧下さい。

※東京管区気象台HPに各ページの案内を設けています。<https://www.data.jma.go.jp/tokyo/>

- ・「関東大震災から100年」特設サイト
- ・「関東大震災から100年」こども向けサイト
- ・「日本海中部地震」のサイト
- ・「福井地震」の特設サイト

※新潟県地震概況「地震津波一口メモ」では、[2023年4月に日本海中部地震](#)、[2023年7月に大正関東地震](#)を取り上げて掲載しておりますのでご覧下さい。

注) 利用にあたって

- ・資料は速報であり後日の調査により変更されることがあります。
- ・新潟県内で震度 1 以上を観測した地震の一覧表の震度は、県内のみを記述しています。また、最大震度は、県内または県外での値を記述しています。
- ・気象庁では地震の震源、マグニチュード等を算出するにあたり、国立大学法人などの関係機関から地震観測データの提供を受け(注1)、文部科学省と協力して処理を行っています。また、震度の情報は、地方公共団体及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供された観測データを含めて発表しています。

(注 1) 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022 年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

- ・この地震概況は新潟地方気象台ホームページの地震解説資料・地震概況のページに掲載しています。
https://www.data.jma.go.jp/niigata/jishin/jishin_kaisetu_index.html
- ・資料についての問い合わせ先：新潟地方気象台電話：025-281-5872

【地震・津波一口メモ】

11月2日に緊急地震速報の訓練を行います ～自分の命を守るためにご参加ください～

(報道発表資料) https://www.jma.go.jp/jma/press/2310/04a/20231004_ewkunren.html

内閣府(防災)、消防庁、気象庁では緊急地震速報の全国的な訓練を実施します。緊急地震速報は見聞きしてから強い揺れに襲われるまでの時間がごくわずかであり、その短い間に、慌てずに身を守る等の防災対応をとるためには日頃からの訓練が重要です。この機会に身を守る行動を体験してください。

1. 訓練実施日時方法

令和5年11月2日(木)10時00分頃
(気象庁からの訓練用緊急地震速報の配信時刻)
・市町村等が実施する防災行政無線の放送
・行政機関の建物等における館内放送
・専用受信端末を整備された施設の報知

※気象・地震活動の状況等によっては、訓練用の緊急地震速報の配信を急きょ中止する場合があります。

2. 訓練の内容等

訓練に参加される方は、訓練用の緊急地震速報を見聞きしたら、まわりの人に声をかけながら「周囲の状況に応じて、あわてずに身の安全を確保」しましょう。訓練はスマートフォンの「地震防災訓練アプリ」(NTTドコモ提供。他のスマートフォンでも利用可能(※一部利用できない機種あり))で参加できます。

訓練方法等の詳細については、以下の気象庁HPをご覧ください。

・緊急地震速報の訓練(令和5年11月2日)

<https://www.data.jma.go.jp/svd/eww/data/nc/kunren/2023/02/kunren.html>

○シェイクアウト訓練について

いざという時にすばやく反応するためには頻りに練習を積んでおくことが必要です。

地震発生時、激しい揺れに襲われるまで、または何かが落下してくるまで、自分の身を守るためには数秒の猶予しかないかもしれません。

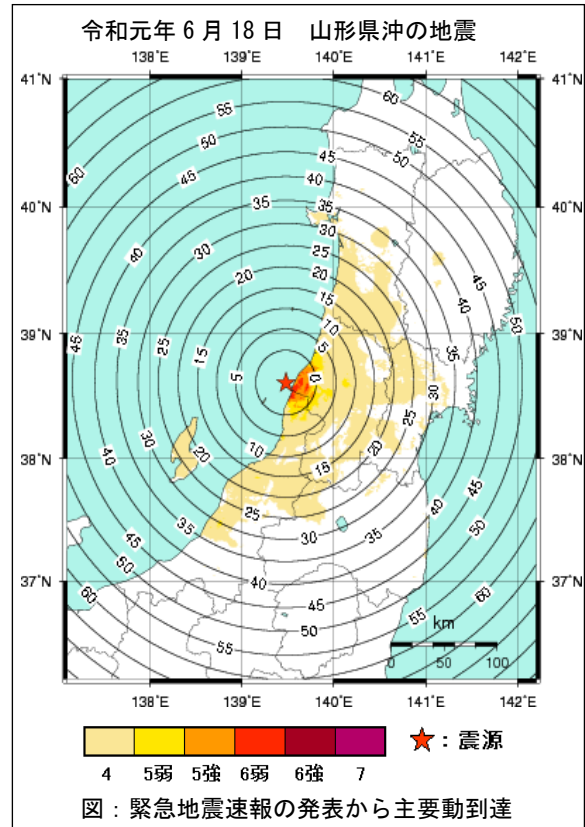
「効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議」は、訓練に合わせた全国的なシェイクアウト訓練の実施について呼びかけを行っています。

<https://www.shakeout.jp/>

※緊急地震速報を活用した訓練は、例年6月頃と11月頃の年2回実施しています。

また、新潟県及び各市町村の防災訓練等でも実施する事があります。

緊急地震速報を見聞きした場合、どのように身を守る行動をとるのか、日頃から考えておきましょう。
<https://www.data.jma.go.jp/svd/eww/data/nc/kunren/kunren.html>



図：緊急地震速報の発表から主要動到達

緊急地震速報は震源に近い地震計が揺れ(P波)を感知し、震源の位置や規模を推定し、震度や強い揺れ(S波)の到達時刻を予測して発表するものです。

